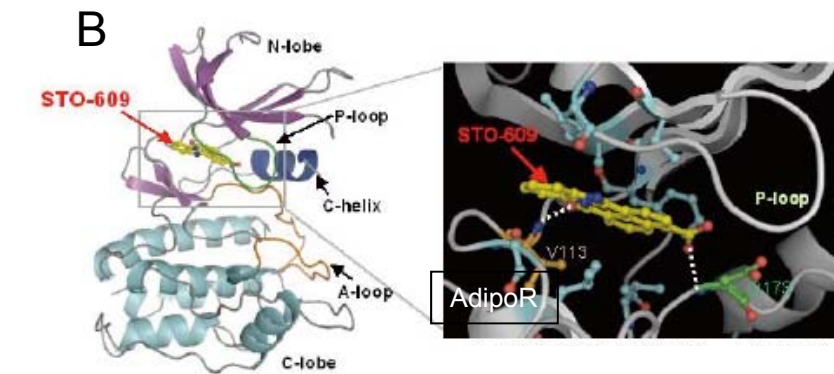
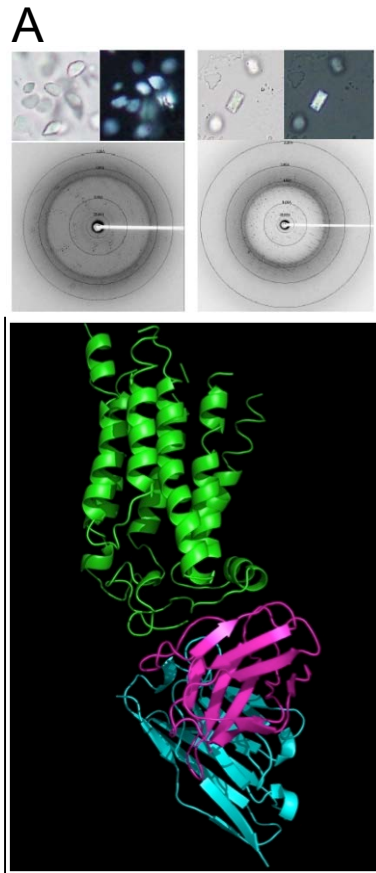


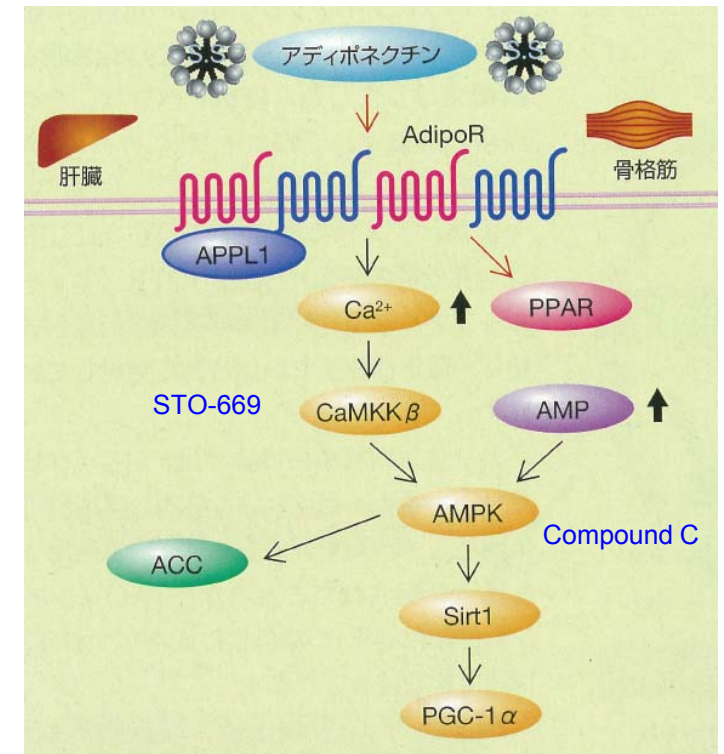
【ヒト・アディポネクチン(Ad)受容体と下流シグナル蛋白質構造解析成功と制御化合物発見】

AdRシグナル制御薬は肥満・糖尿病治療の有望な創薬標的であり、その理論創薬のため実施された標的蛋白質と制御薬複合体構造解析に成功した。

門脇孝(東大)、横山茂之(理研)、箕越靖彦(自然科学研)チーム



- A アディポネクチン受容体・抗体複合体構造の構造解析に成功
- B CaMKK(AMPKキナーゼ)ドメインと阻害剤STO-609との複合体構造解析に成功
- C AMPK-Compound C(阻害剤)複合体構造解析



本チームはAdR、CaMKK、AMPK、ACCの立体構造解明に成功し、AdR活性化薬、Compound Cより親和性の高い阻害剤、優れたACC阻害剤の発見に成功し、創薬開発のためのリード化合物開発を進めている。